

5万分の1地質図幅の新刊

磯 浜 ISOHAMA

5万分の1地質図幅
地域地質研究報告

著 者 坂本 亨 (地質部)

発 行 工業技術院地質調査所

取 扱 先 東京地学協会 (03) 261-0809

- 磯浜とは 〱水戸を離れて東京へ3里…… 磯節で名高い大洗の旧町名である。だからこの図幅 ほんとうは「大洗」図幅とした方がよかった。〱磯で名所は大洗さまよ…… というわけである。
- それはさておき 大洗台地を北端として鹿島灘沿岸を南北にのびるこの図幅地域には 第四系が広く発達している。それ以前の地層としては わずかに大洗海岸の名勝などをつくる「大洗層」が露出しているだけ。それは北隣の「那珂湊」図幅にならって白亜系ないし古第三系として扱われており 地層の記載・化石のリス

トなどは今までの文献を整理してまとめたものである。

- この図幅の特徴のひとつは 地表ではみられない伏在新第三系についても多数のボーリング資料を集めて記載に努力したことである。新第三系は大部分「多賀層」(上部中新統)と目されるものであるが 1ヵ所だけ *Venericardia penda* を含む鮮新統が発見されている。
- 第四系は「石崎層」・「見和層」などに区別されているが いずれも地表観察やボーリング資料をあわせて詳しく記述されている。とくに「見和層」については「那珂湊」図幅と同様 層序的に下部・中部・上部と3分した上で それぞれについて記述し 古地理環境についてのべている。この中には 三陸北部～北海道南部の現棲貝群集に匹敵するという いちぢるしく冷水性の貝化石群の発見や 基底面高度の実測から広大な波蝕面の姿を描き出したこと また 鹿島灘沿岸のいわゆる隆起帯の否定など 興味深い事柄が多い。沖積層についても 国鉄鹿島線ぞいのボーリング資料をつかって 那珂川下流平野の断面を示している。
- 難をいえば「応用地質」の項目がないことが気にかかる。水源井のボーリング資料なども沢山集めているようだし 地下水についての記述もあってほしかった。
- そのほか断面図を枠内に入れて断面線に並べて理解しやすくし 地質図にはロームを除くなどと工夫がこらされている。

